

氏名	若林チヒロ	部署	健康開発学科	職名	教授
研究分野	生活科学、健康社会学				
学位	修士（家政学）				
学歴	1988年お茶の水女子大学卒業、1991年お茶の水女子大学院修士課程修了				
経歴	1999年埼玉県立大学保健医療福祉学部社会福祉学科助手、2008年健康開発学科健康行動科学専攻講師、2011年同准教授、2017年同教授				
所属学会（役職）	日本公衆衛生学会（代議員）、日本エイズ学会（評議員）、日本保健医療社会学会、日本疫学会、日本社会福祉学会（査読委員）、日本アフリカ学会				

【2025年度実績】

1. 研究業績							
(1) 著作							
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数		著者、編者名	発行等年月
1	社会・環境と健康：第20章国際保健	共著	○	医歯薬出版. 193-202		若林チヒロ著、尾島俊之・大木いずみ編	2026.2
2	公衆衛生マニュアル2025：第13章健康づくり	共著	○	南山堂.143-166		若林チヒロ著、中村好一・佐伯圭吾編	2026.3
3	公衆衛生マニュアル2025：資料	共著	○	南山堂.285-298		若林チヒロ著、中村好一・佐伯圭吾編	2026.3
(2) 論文							
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	Drug Dependence Severity and Associated Factors Among Cisgender Gay, Bisexual and Other Men Who Have Sex With Men in Japan	共著	あり	○	Journal of Psychoactive Drugs, July, 1-10.	Takeshi Miwa, Carol Strong, Kanna Hayashi, Masazumi Yamaguchi, <u>Chihiro Wakabayashi</u> , Yuzuru Ikushima	2025.7.23
2	「薬害HIV被害者の「生きるための調査」―当事者性と科学性の模索―」『薬害HIV被害者生活調査の30年』	単著	なし		保健医療社会学論集. 第36号1号. 26-34	若林チヒロ.	2025.8
3	「ガーナ人―移民1世の高齢化と2世の成長、そして新たな来日者層」.『第5章2010年代の新規移民―継続する課題と次世代の胎動』	単著	なし		変容する移民コミュニティ【第2版】―時間・空間・階層―	若林チヒロ.	2025.11.30
4	Joint Associations of Undetectable=Untransmittable Awareness and Social Proximity with Sexual Decision-Making With People Living With HIV: A Cross-Sectional Study in Japan	共著	あり	○	AIDS and Behavior(in press)	Takeshi Miwa, Carol Strong, Stephane Wen-Wei Ku, Chia-Wen Li, Poyao Huang, Huei-Jiuan Wu, <u>Chihiro Wakabayashi</u> , Masazumi Yamaguchi & Yuzuru Ikushima	2026.2.11
(3) 学会発表							
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市		発表者（発表者は○印）		発表等年月
1	「在日ガーナ人と第2世代の動態―多様化するライフコース―」『在日アフリカ人コミュニティの動態―時間的拡大と空間的拡大―』	単著	第62回日本アフリカ学会学術大会, 京都市		○若林チヒロ		2025.5
2	在日外国人女性の乳がん検診受診行動―フィリピン人へのインタビュー調査から―	共著	第51回日本保健医療社会学会, 長崎市		○佐藤史歩、本間三恵子、大木いずみ、若林チヒロ（P16-1）		2025.5

3	12回に及ぶCOVID-19流行波の疫学特性と感染予防対策の推移	共著	第84回日本公衆衛生学会総会.静岡市	○若林チヒロ、松本真欣、大木いずみ、松原優里、松原大輔、佐藤史歩、中泉惟、相羽良寿、中村好一、柳川洋	2025.10
4	小児COVID-19 パンデックと予防対策の検証	共著	第84回日本公衆衛生学会総会.静岡市	○松原大輔、松原優里、若林チヒロ、松本真欣、大木いずみ、佐藤史歩、中泉惟、相羽良寿、中村好一、柳川洋	2025.10
5	COVID-19流行の第6波～第8波（5類感染症移行前）の観察	共著	第84回日本公衆衛生学会総会.静岡市	○佐藤史歩、松本真欣、若林チヒロ、大木いずみ、松原優里、松原大輔、中泉惟、相羽良寿、中村好一、柳川洋	2025.10
6	COVID-19流行の第9波～第11波（5類感染症移行前）の観察	共著	第84回日本公衆衛生学会総会.静岡市	○松本真欣、佐藤史歩、若林チヒロ、大木いずみ、松原優里、松原大輔、中泉惟、相羽良寿、中村好一、柳川洋	2025.10
7	COVID-19パンデミック流行波の疫学像：2020-2025	共著	埼玉県立大学保健医療福祉学会第16回学術集会.越谷市	○若林チヒロ、松本真欣、大木いずみ、佐藤史歩、中泉惟、相羽良寿	2025.11
8	U=Uの知識およびHIV陽性の友人の有無と、性行為に関する意思決定との関連	共著	第39回日本エイズ学会学術集会, 熊本市	○三輪岳史、山口正純、生島嗣、若林チヒロ、Carol Strong	2025.12

(4) その他

	名称	単・共	発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	該当なし				

2. 競争的資金等の研究

	競争的資金等の名称	研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	文部科学研究費補助金基盤研究（C）	アフリカと日本を生きる2世が創る新たな文化	研究代表者	2025年度-2027年度
2	文部科学研究費補助金2025年度挑戦的研究（萌芽）	感染症陽性者の生活・人生と社会的なあり方の意義に基づく新たなモデル構築の試み	研究分担者	2025年度-2027年度

3. 教育業績

(1) 講義

	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	健康情報学入門Ⅰ		1	1年生対象の専攻専門必修科目、健康行動科学の専門領域と自身の専門紹介
2	情報リテラシー	○	15	1年生対象の専攻専門必修科目。情報の収集と提供の基礎
3	健康行動科学入門Ⅱ	○	5	2年生対象の専攻専門必修科目。卒後の社会活動選択の参考になる情報提供に務めた。
4	健康科学3（健康社会論）	○	15	2年生対象の専攻専門必修科目。社会的健康、健康と社会とのかかわりについて。
5	多文化社会と生活	○	15	3年生対象の専攻専門選択科目。学生の多様な意見を交換できるようにした。
6	リプロダクティブライツと看護		1	看護学科の専門選択科目にてHIV/AIDSをテーマに講義。
7	健康福祉社会調査論	○	15	大学院（博士前期課程）の専門選択科目。履修者の研究方法を考慮しつつ社会調査の方法と事例を講義。
8	健康情報学研究論			大学院（博士後期課程）の専門必修科目。履修者の研究テーマに沿って調査研究の事例に基づいて講義。

(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	専門ゼミ 1		15	3年生対象の専攻専門必修科目。ゼミ、ディスカッション
2	専門ゼミ 2		15	3年生対象の専攻専門必修科目。ゼミ、ディスカッション
3	卒業研究		30	4年生対象の専攻専門必修科目。卒研指導5名
4	健康福祉科学演習（健康ライフスタイル）	○	15	大学院（博士前期課程）の専門選択科目。履修者の研究テーマに沿って実施。今年度は直接履修なし。
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	IPW実習		学外実習	科目担当者（健康行動科学専攻担当）
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2025.4～2026.3	主指導 5名	副指導 該当なし
2	修士論文	2025.4～	主指導（指導教員） 1名	副指導（指導補助教員） 0名
3	博士論文	2025.4～	主指導（指導教員） 1名	副指導（指導補助教員） 1名
(5) その他				
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	アジア・アフリカ言語文化論演習	2026.3	高知大学人文科学部の集中講義。	
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	該当なし			
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称		任期
1	さいたま市	国民健康保険運営協議会委員		2022/4-2027.3
2	日本家族計画協会倫理審査委員会	倫理委員会（社会）		2012-
3	日本公衆衛生学会	代議員		2025.10-
4	日本エイズ学会	評議員		2025-
5	日本社会福祉学会	査読委員		2023-
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容		年月
1	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	地域貢献活動	A.D.Japan	在日外国人関連の支援	ー2026.3継続
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	国際交流委員		2025.4-2026.3
2	大学広報活動	オープンキャンパス等		2025.4-2026.3
3	大学広報活動	県内高校での専攻説明、オープンキャンパス、後援会		2025.4-2026.3
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）				
	受賞名	主催		受賞年月
1	該当なし			
7. 特許の取得				
	特許名	特許番号		登録年月
1	該当なし			
8. 特記事項				
	該当なし			